

サタ☆くら通信

第31号

青森家庭少年問題研究会では、平成25年7月から、毎週土曜日の午前中、小学生・中学生等を対象に、学習支援活動を行っています。

青森市母子寡婦福祉会の協力を得て、現在ひとり親家庭の子どもたち8人を対象に、ボランティア登録してくれた県立保健大学の学生さんが、子どもたちの学習進度に合わせて1対1を原則に勉強を教えています。

■テーマ型募金に22万5千円

共同募金会のテーマ型募金は、共同募金会と活動団体とが、ともに募金活動を行うことで、地域の課題を解決する取組の周知を行うとともに、寄付者の共感や賛同により団体の活動資金を確保するものです。

青森サタディ☆くらぶとして、令和3年度のこのプロジェクトに参加し、今年1月から3月までの募集期間で、225,000円ご寄付いただきました。

我々の活動に賛同し、ご寄付いただいた多くの皆様に心から感謝申し上げます。

【テーマ型募金プロジェクト参加のチラシ】



いただいた寄付金は、子どもたちの学習活動にかかる教材費や行事費等に活用させていただきます。

■久しぶりの行事「お花見会」開催しました

新型コロナで学習活動のみならず、さまざまな行事も中止となっていました。4月11日以降、規制が緩和されたこともあり、23日には合浦公園でお花見会を実施しました。飲食は禁止されていたため、学生さんと子どもがペアになって、出店の買い回り（お持ち帰り）だけとなりましたが、お天気にも恵まれ、楽しみにしていた対面での行事で、子どもたちと大学生との距離も、ぐっと縮まったようでした。



【子どもが作ったてるてるぼうず】

今年度は、可能な限り行事も行い、さらに子どもたちとの関係性を深め、効果的な学習支援活動になるよう努めて参ります。



【ヨーヨーうまく釣れるかな】

=====

★学習支援の申込★

学習支援の申込は随時受付しています。

- ・対象は、小学生・中学生です。
- ・申込、お問合せは、青森県母子寡婦福祉連合会（電話017-735-4160）あて。
- ・学習費用は無料。初回時のみ登録料として子ども1人500円お願いします。
- ・なお、学生ボランティアの数により、申込をお断りする場合があります。